※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 1003 |
|---|---|

# 令和８年度　理科

| 教科 | 理科 | 科目 | (学)安全の科学 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

これまで学んできた理科の内容を再確認するとともに，その知識を活かし進路選択の選択肢を広げる教養を身につけます。

高等学校までに学習する理科の内容のうち，危険物取扱者乙種 4 類の試験に扱われている内容を中心に扱います。

## 2　学習の到達目標

・危険物取扱者乙種 4 類の試験で出題される基礎的・基本的な内容を中心とした知識や技能を習得する。
・危険物に関する事象を科学的に考察する能力を養う。
・危険物に関する知識を日常生活で活用する態度を身に付ける。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 危険物に関して、基本的な性質や知識を習得し、知識を身に付けている。<br>観察、実験などを行い、基本操作を習得する。 | 日常生活や社会との関連を図りながら、危険物を探究する課程を通して、科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。 | 日常生活や社会との関連を図りながら、危険物に対して科学的に探究する技能を身に付けている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 一学期 | 物質の状態と熱 | 温度と熱量，熱膨張<br>物質の三態と状態変化<br>物質の成り立ち<br>化学法則<br>反応熱 | a:物質の状態や熱化学現象と人間生活との関連について基本的知識を理解している。<br>b: 物質の状態や熱化学現象と人間生活との関わりを科学的に考察できる。<br>c:物質の状態や熱化学現象と人間生活との関連付けを自ら行うことができる。 | 定期考査 | 定期考査 | 授業ノート<br>ワーク<br>観察 |
| 二学期 | 物質の性質 | 酸化と還元<br>酸と塩基<br>燃焼と消火<br>危険物の性質 | a:危険物の性質と人間生活との関わりについて基本的知識を理解している。<br>b: 危険物の性質と人間生活との関わりについて科学的に考察できる。<br>c:危険物の性質と日常生活での事象と結びつけることができる。 | 定期考査 | 定期考査 | 授業ノート<br>ワーク<br>観察 |
| 三学期 | 防災と環境 | 自然災害と防災<br>環境問題 | a:防災と環境問題について基本的知識を理解している。<br>b:防災と環境問題について科学的に考察できる。<br>c:防災と環境問題を社会生活と結びつけることができる。 | 定期考査 | 定期考査 | 授業ノート<br>ワーク<br>観察 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度